



# スマトラ沖大地震 救援の手を！

ご存知のように、昨年末にスマトラ沖で発生した大地震と大津波によって被災地では約30万人以上が死亡し、現在未曾有の劣悪な状況となっています。

毎日のテレビ、新聞報道では被災地域は広範囲にわたり、すでにマラリア等の伝染病がまん延しつつあります。

当協会が進めるボランティア活動は国内外を問わず、真に援助の手を必要とされている地域の人々に少しでも役に立つことをめざしています。このたびの大災害に対して当協会の神奈川、広島、福岡、大分の各支部でボランティア活動に参加されている方々に援助の呼びかけをしました。



現地の状況は日一日と悪化しつつあり、手をこまねくことなく、一刻も早く被災地住民への援助の手を差し伸べようではありませんか。援助の方法としては指定口座への振込みとHAPPY BOX（募金箱）の利用があり、皆さまのご協力をお願いいたします。（写真インドの新聞より）

## インド

「浜辺に張り付くように暮らしていた漁民がすべてを失った」（援助担当者）といわれる南部タミルナド州にあるチェンナイ漁港には、いまだ魚の姿が見られない。海に流され、損壊した漁船は約3万隻。保険をかけず、漁船を買うときに借りた重い利払い負担を背負う人たちが多い。政府の補償金をひたすら待つ日だ。

同州南部キーチャングツパムの村では、代表格のナラヤナシマさんが「日常的な救援物資よりも、船と漁網が欲しい。それがあれば自力で立ち直れる」と話した。インド独特のカースト制度のため、村民のほとんどが、ほかの仕事につく機会や技能がない。港や市場、流通も停止状態だ。国内で影響を受けた漁業関係者は「数十万人にのぼる」といわれるが、救済策は講じられていない。

ビューティーエルバ (0463-21-4611)

平塚市代官町

「いらつしやいませ」と明るく声でいつも迎えてくださいます。熟練の腕を持ちいつも向上心を持って学んでいられる姿勢や女性ならではの細やかさが店の随所に見られ、とても優しい心を持たれ、募金箱設置にも積極的に協力していただきました。



レストラン伊勢梅 (046-297-3260)

厚木市恩名

シックで落ち着いた雰囲気の中、美味しい欧風料理が戴けるレストランです。ソーセージ・パンケーキも全て自家製でご家族がそれぞれ担当されているそうです。募金箱へのアドバイスも色々頂き、ボランティアに対する意識の高さを感じました。



美洗館・小川店 (042-795-4825)

町田市小川

「少しでも役立つなら、置いていいよ」やさしい言葉が返ってきました。いつも笑顔で迎えてくださるクリーニング店の仲の良いご夫妻です。ネパールは遠いけれど、お二人の暖かい思いやりが、ヒマラヤの美しい山々に届きそうです。



## ～ ころころ ～

### ○暖かい心

ボランティア便り26号で現在建設中のインド路上生活者用老人ホームで不足している医薬品のご寄付をお願いしました。

さっそく本部に送ってきて下さいました。

九州のY様は在庫のなかから、また埼玉の製薬会社にお勤めの方からはサンプルを、又、ご家族の薬箱の中から等々、暖かいお心が届いています。有難うございます。

現地ではまだまだ医薬品が不足していますので、ひきつづき皆さまのご協力をお願い申し上げます。

### ○爽やかな春風のように

レストラン伊勢梅様で設置されている募金箱、並びにネパールの写真集をご覧になられた海老名在住のY様。

お役に立てて下さいと、アメリカ製の新しいぬいぐるみを100個以上お届け下さいました。

やさしい思いがいっぱい詰まった春の風のようにあたたかく爽やかな方で感動もいっしょにいただきました。感謝申し上げます。

○ “共に助け合いたい”それが私たちの願いです。ご協力、よろしく願いいたします。

○ 支援金振込先 郵便口座 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル  
記号 10290 番号 68107191

### ○お願い

三月六日に開催する神奈川県厚木市でのフリーマーケット出店の為の品物が不足しています。

古着、食品、生き物以外で御協力宜しくお願い致します。尚、ご協力下さる方は、御面倒ですが本部までお送り頂きますようお願い致します。

ヒマラヤの雪明り背に  
励む子等  
国の明日の  
幸せぞ願い

## ～ そよ風 ～

受験を迎え頑張っている  
エル・エンジェル校の生徒  
たち、嬉しい結果が届きま  
すように。

### 編集後記

昨年は国内外で台風や大地震で今までにない大災害が発生し被災地の人々にとっては大変な年明けとなりました。被災地のニュースを見るたびに心が痛みます。

沢山のボランティアの方々が地域、国境を越えて、みんな力で合わせて、ともに助け合っている暖かい心を感じました。このような活動をただ傍観するだけでなく、小さいことでもすぐに行動に移すことの大切さを思いました。

一日も早い復興を心から願います。今年もボランティア便りをご愛読頂きたくよろしく願いいたします。(陶山)